

平成27年度
文化振興課所管事業

背景・事業概要

- 群馬交響楽団は、1945(昭和20)年に「高崎市民オーケストラ」として設立された地方オーケストラの草分けであり、これまでも定期演奏会や移動音楽教室などの公演を通じ、県民にオーケストラ鑑賞の機会を提供し、子どもたちの心の豊かさを育んできました。また、県外公演等を通じて、本県のイメージアップも図ってきました。
- 今年度は創立70周年を迎え、各種記念演奏会などを通じ、さらなる発展が期待されるとともに、公益財団法人として一層の経営安定化が求められていることから、従前に引き続き、運営費に対する補助及び各種事業に対する支援を行います。

具体的な取り組み

【予算額263,940千円】

1 運営費等に対する支援

運営及び経営安定化のための補助金

- ①運営費補助 (162,775千円)
- ②財務基盤強化 (7,500千円)
- ③退職金積立 (17,300千円)

3 各種演奏会への補助

県民への鑑賞機会の提供と、県外公演による県のイメージアップを支援

- ①東京定期演奏会 (3,500千円)
- ②県外公演支援 (1,000千円)

2 移動音楽教室等に対する支援

幼児から高校生までを対象に、本物の音楽に触れる演奏会等を実施

- ①幼児移動音楽教室 (4,250千円)
- ②移動音楽教室 (39,245千円)
- ③高校音楽教室 (22,019千円)
- ④ // 会場使用料 (2,463千円)
- ⑤楽器セミナー (3,888千円)



群響・東京オペラシティ公演



移動音楽教室

2 県民芸術祭委託

背景・事業概要

- 県民芸術祭は、昭和56年に決議された「文化県群馬」宣言及び平成24年に制定した「群馬県文化基本条例」の理念に則り、多くの県民が芸術文化活動に積極的に参加できるよう支援するとともに、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、個性豊かな県民文化の育成・創造を目指す文化芸術の祭典です。
- 本県の文化を支える担い手の育成や子どもたちの豊かな心を育む文化芸術活動を推進するため、県民音楽のひろばをはじめとする群響の演奏会や県民参加による演劇制作事業等を実施します。
- 伝統文化の保存・継承・発展、後継者育成と普及を図るため、ぐんま伝統歌舞伎の祭典や小中学校伝統芸能教室等の事業を実施します。
- 「群馬県文化基本条例」制定に伴う新たな取り組みとして、映画、漫画、アニメーションなどのメディア芸術の振興を図るため、メディア芸術祭（GUNMAマンガ・アニメフェスタ等）を実施します。

具体的な取り組み

【予算額52,237千円】

- 群馬県文学賞など県民芸術祭事業を（公財）群馬県教育文化事業団に委託して実施します。
- 「群馬県文化振興指針」に則り、芸術文化事業推進（ぐんま総合芸術推進）事業と併せて、重点的に県民参加による総合芸術とメディア芸術の振興を図ります。

（内訳）

- ・群馬県文学賞選奨
- ・群馬県展（5部門）
- ・県民音楽のひろば
- ・小中学校伝統芸能教室
- ・公開放送番組招聘
- ・山崎種二記念特別賞
- ・子ども歌舞伎ワークショップ
- ・メディア芸術祭（GUNMAマンガ・アニメフェスタ等）
- ・参加団体会場費補助
- ・芸術祭企画運営
- ・群響企画コンサート
- ・グリーンコンサート
- ・ぐんま新人演奏会
- ・ぐんま伝統歌舞伎の祭典



ぐんま伝統歌舞伎の祭典



GUNMA マンガ・アニメフェスタ

※下線の事業は、「ぐんま総合芸術推進」事業の一部として実施

背景・事業概要

- 「文化振興指針」に則り、本県の文化芸術活動の推進を図るため、県内では公演機会が少ない総合芸術（オペラ等）について、県民参加で公演することにより、全県的な文化芸術振興を図るものです。
- 文化活動への参加者の高齢化や文化事業のマンネリ化を脱するため、「メディア芸術」や「子ども歌舞伎」に取り組むことにより、若年層の参加を促し、次代を担う人材の育成を図ります。
- 特に、平成27年度は群馬交響楽団創立70周年であることから、オペラ「蝶々夫人」の制作・公演を行います。

具体的な取り組み

【予算額105,856千円】

1 総合芸術・舞台芸術の推進

- ①群馬交響楽団70周年記念オペラ「蝶々夫人」制作・公演
＜桐生公演＞平成27年9月19日(土) 桐生市市民文化会館
＜前橋公演＞平成27年9月23日(水・祝) ベイシア文化ホール
- ②子ども歌舞伎ワークショップ
平成29年度公演を目途にこども歌舞伎の制作に着手します。

2 メディア芸術の振興

- 「マンガ・アニメフェスタ」の内容を充実させるなど、メディア芸術の振興を図ります。

3 群響を活用した音楽に親しむための取組

- 「夏休みこどもコンサート」の開催など、子どもたちを含む県民に、より音楽に親しんでいただく取り組みを実施します。



オペラ「蝶々夫人」イメージ

背景・事業概要

- 群馬県民の記憶に深く刻まれた「上毛かるた」を活用し、郷土の素晴らしさを見つめ直し、郷土ぐんまへの誇りと愛着を醸成するとともに、県外へも本県の文化的魅力を紹介します。
- 具体的には、上毛かるたを活用しながら本県の魅力を県内外へ発信するために、上毛かるた及び関連書籍（副読本・ガイドマップ）の発行並びに有償頒布や、歴史ある「上毛かるた」競技県大会を継続します。

具体的な取り組み

【予算額8,060千円】

1 上毛かるたの発行(予算額7,560千円)

平成25年10月28日〔群馬県民の日〕に権利譲渡を受けた上毛かるたに込められた思いを引き継ぎ、上毛かるたを通じて歴史と先人たちの思いを子どもたちをはじめ、広く県民に知ってもらえるよう努めます。
H27年度は、上毛かるた20,000部を発行し、県内外の書店等に配本します。

2 副読本『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』の発行

上毛かるた44枚の絵札で取り上げられた事象を分かりやすく解説するとともに、制作された当時の状況やその事象にまつわる現在の姿等を紹介する副読本を、引き続き発行します。（県内外の書店に配本）

3 ガイドマップ『「上毛かるた」ゆかりの地 文化めぐり』の発行

上毛かるた44枚の各絵札で取り上げられている地域へのアクセス方法を紹介し、ぐんまの文化紹介とあわせて観光PRに活用するガイドマップを、引き続き発行します。（県内外の書店に配本）

4 「上毛かるた」競技県大会の開催(予算額500千円)

県・県教育委員会・子ども会育成連合会の3者が主催する「上毛かるた」競技県大会を継続して開催します。



上毛かるた



副読本



ガイドマップ

5 県立文化施設の計画的整備

現状・課題

県立文化施設〔美術館(2)・博物館(3)・文化ホール(2)〕は経年劣化が進行しており、施設の長寿命化を視野に、安全性確保を優先しながら計画的な改修が必要です。

- 〔県民会館〕 ○築後43年を経過し、建物・設備の老朽化が進行しています。
○市町村に文化ホールが整備されてきている中、建設当初と比べての優位性や拠点性等、将来的な役割を検討する必要があります。
- 〔歴史博物館〕 ○平成23年に発生した展示資料の水滴染み事故により、同年10月に文化庁から公開承認施設の承認が取り消されました。
○重要文化財等の公開にふさわしい施設として文化庁の再認定を目指します。

具体的な取り組み

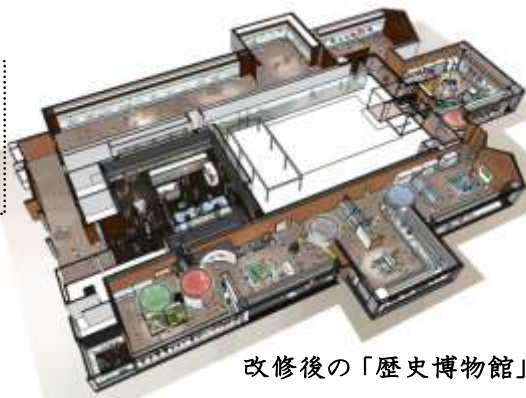
県民会館

- 「**県民会館のあり方検討委員会**」の設置
(検討事項) ・将来的な役割や利用拡大策
・施設の全面改修の必要性 等
- 吊り天井の詳細調査**
(予算額) 11,157 千円



その他の施設

- 近代美術館の修繕**
(修繕内容) 新収蔵庫空調設備更新等
(予算額) 51,617 千円



歴史博物館

- 平成28年4月のプレオープンに向け改修工事を実施します。
(改修工事のため、平成27年度は休館)
- 改修後は、東国で重要な位置を占めた本県の歴史・文化をアピールするとともに、県内の歴史文化遺産のさまざまな情報を発信します。

〔建物改修工事〕

- (予算額) 2,114,544 千円 (H26~27年度債務負担行為)
- (内容) 断熱気密対策、エアタイトケース設置、収蔵庫の漏水対策、前室・空調設置、学習ホールの空調更新など

〔展示工事〕

- (予算額) 341,507 千円 (H26~27年度債務負担行為)
- (内容) 現展示撤去、レイアウトの変更、東国古墳文化展示室設置、テーマ展示室設置、既存模型の一部更新など

〔博物館資料の移送・保管等〕

- (予算額) 223,889 千円 (H26~28年度一部債務負担行為)
- (内容) 改修期間中、博物館の収蔵資料等を倉庫等に移送・保管

6 文化施設の運営(1)

背景・事業概要

- 県では、県民の皆様に優れた本県の芸術や文化の鑑賞の機会を提供するため、7つの文化施設を運営しています。
- 平成26年度の美術館・博物館の入館者数はおよそ43万人、文化ホールの利用者数はおよそ35万人となっています。

具体的な取り組み

【予算額959,828千円】

○美術館・博物館の運営について

県民の目線に立った運営を進め、魅力的な企画展を開催するとともに、教育普及事業の充実を図ります。

近代美術館

本県の中核的美術館として、近現代の作品を中心に優れた作品を紹介します。

- (H27企画展示)
- ・「佐々木苑子展」
 - ・「アート・オブ・ライフ」
 - ・「戦後日本美術の出発」
 - ・「群馬NOMOグループの全貌」



館林美術館

「自然と人間」をテーマに、地域に根ざした美術館として、企画展やコレクション展を開催します。

- (H27企画展示)
- ・「山名文夫とアール・デコ展」
 - ・「リサ・ラーソン展」
 - ・「舟越桂展」
 - ・「エジプト美術展」



歴史博物館

※ 改修のため、平成26年9月29日～平成28年4月まで休館となります。

6 文化施設の運営(2)

具体的な取り組み

自然史博物館

地球の生き立ちから生物の進化、本県の自然の現状と変遷について、展示を行います。

- (H27企画展示) ・「根も葉もない植物の話」 ・「恐竜時代の海の支配者」
・「食べる」 ・「ぐんまの自然を伝える」
・「鎧をまとった生き物たち」

< E S C O 事業 >

平成25年度に更新した省エネ型空調設備等により、平成26年度から事業の運用を開始しています。

土屋文明記念文学館

本県ゆかりの文学者を中心に、文学に関する様々な資料を展示します。

- (H27企画展示) ・「歌の古代を探る一万葉集・土屋文明・東国文化一」
・「三大童謡詩人展(仮称)」
・「村上鬼城生誕150年記念展(仮称)」
・「文学館の浮世絵展(仮称)」
・「収蔵資料展」

文化ホールについて

優れた文化芸術の創造、交流、発信の拠点として積極的に活用され、その機能を十分に発揮できるよう、施設・設備の管理運営を指定管理者制度により行います。(予算額142,352千円)

○ 群馬県民会館 (ベイシア文化ホール)

指定管理者 : 群馬県民会館管理共同事業体
期 間 : 平成23年度~27年度

○ 自然史博物館附帯ホール (かぶら文化ホール)

指定管理者 : 富岡市
期 間 : 平成26年度~28年度



背景・事業概要

- 失われつつある地域の伝統や文化を継承（復活）している、意欲ある団体への支援を行います。
- 具体的には、県内各地に伝わる伝統芸能や祭りなどを継承するための取り組みを、補助事業や委託事業により支援します。

具体的な取り組み

【予算額9,558千円】

1 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業（予算額8,102千円）※補助率2/3以内

補助メニュー	対象事業	上限額	件数(枠)
伝統文化映像記録	地域伝統文化を映像に記録	300千円	4件
伝承者養成	伝承者(後継者)の養成	200千円	} 30件
伝統文化継承活動	道具や衣装の整備等	200千円	
こども伝統文化継承	こども教室等での体験・習得	200千円	
伝統文化サポーター	継承を支えるサポート活動	200千円	4件



獅子舞用衣装の購入(伝統文化継承活動)



祇園囃子の練習会(こども伝統文化継承)

2 伝統文化継承事業委託（予算額1,456千円）

(公財)群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識や人脈を活かした、伝統文化継承に関する具体的支援を実施します。

- ①ぐんまの地域文化マップ運営 ②伝統文化継承委員会 ③県内伝統文化の調査 ④伝統文化継承モデル事業の実施

8 東国文化周知・上野三碑世界記憶遺産登録推進 文化振興課

背景・事業概要

- 古代東国の中心地として栄え、東日本最大の古墳大国である本県の歴史文化遺産について、県民に再認識してもらうとともに、「東国文化＝群馬」を全国に発信・定着させ、観光振興・イメージアップを推進します。
- 子どもたちに群馬のルーツを知ってもらうための副読本を作成し、学校現場や家庭学習での活用を進め、故郷への誇りと愛着を育みます。
- 上野三碑（山上碑、多胡碑、金井沢碑）の最短（平成29年）での世界記憶遺産登録を目指して、地元高崎市、民間団体等からなる上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会を中心に官民一体で推進します。

具体的な取り組み

【予算額13,653千円】

1 古代東国文化サミットの開催

地元市町村長と東国文化の展望を語り、地域の歴史文化遺産を県内外に発信する。

- ・開催地 北毛地域
- ・内容 毛の国ふるさと自慢、古代創作劇「ぐんまの物語」上演など
〔予算額 4,300千円〕



地元市町村と連携

2 東国文化副読本の活用推進

- ・副読本を中学一年生全員に配布
- ・教師用マニュアル書の配布
- ・モデル授業の実施
- ・夏休み自由研究の募集
- ・一般販売
〔予算額 2,877千円〕



教育委員会と連携

3 上野三碑世界記憶遺産登録推進

申請書の作成を進めるとともに、普及啓発活動を官民一体で推進する。

- ・推進協議会の運営（申請書の作成）
- ・シンポジウム開催
- ・普及啓発ツール（チラシ等）の制作
- ・県内各地での講演会の開催
〔予算額 6,241千円〕

<国内スケジュール>

- 6月 公募締切り
- 9月 申請物件の決定
- 3月 ユネスコへの申請書提出



地元高崎市と連携

<その他>

- ・上野国分寺まつり（天平衣装行列）の開催
- ・国際シンポジウム（群馬・京都）の開催
- ・文化遺産ガイドボランティア養成講座
- ・東国文化を巡るトレジャーハンター

文化庁補助金の活用

9 文化づくり支援事業

背景・事業概要

- 「群馬の文化」形成に資する、地域での多様で創造性豊かな活動を支援します。
- 市町村、NPO法人、民間団体が行う文化活動への補助を実施します。
- 第三者機関による補助事業の事前・事後評価と、事業のコーディネートを行います。

具体的な取り組み

【予算額10,975千円】

1 「群馬の文化」支援事業補助金（予算額10,000千円）※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額
文化力向上事業	群馬の文化を元気にする新たな取組等を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)・NPO法人・民間団体	50万円
次世代育成事業	次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる取組を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)・NPO法人・民間団体	20万円
文化資産発掘・活用事業	地域の文化資産を活かした地域振興に繋がる事業を支援	市町村(市町村を含む実行委員会)	250万円



日越共作映画「Tanpopo」(文化力向上事業)



岩櫃城忍びの乱(文化資産発掘活用事業)

2 文化づくり支援事業評価委員会（予算額975千円）

第三者機関による補助事業に対する事前・事後の評価を実施します。また、採択した事業に対する助言等のコーディネートを行うなど、継続的な支援を実施します。